

平成29年11月30日

枝光小学校のめざす子ども像 ○進んで学ぶ子ども ○仲良くできる子ども ○ねばり強く取り組む子ども

学校だより

学力特集号



北九州市立枝光小学校

〒805-0002 八幡東区枝光四丁目12番1号

TEL 093-671-5354

校長 前山 耕二

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	漢字や言語についての知識・理解・技能に課題がある。当該学年までの漢字を活用する場面を設定し、習熟を図る取組を強化していく必要がある。
国語B	目的や意図に応じ、文章全体の構成を考えることについてはよいが、必要な内容を整理して書く能力を高める取組を進めていく必要がある。
算数A	特に「数と計算」「図形」「数量関係」領域の数値についての技能に課題がある。まずは、四則計算の定着を図る取組を強化していく必要がある。
算数B	特に「数量関係」領域の思考に課題がある。示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述する力を高める取組を進めていく必要がある。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none">• 将来の夢をもっているかを測る設問では、肯定的回答をした児童の割合が全国平均を下回っていた。• 話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりすることができるかを測る設問では、肯定的な回答をした児童の割合が、全国平均を下回っていた。• 算数の授業で学んだことを普通の生活の中で活用できないか考えているかの設問では、肯定的回答をした児童の割合が、全国平均を上回っていた。• 家庭での学習を自主的に行っているかを図る設問では、肯定的回答をした児童の割合が、全国平均を下回っていた。• 読書は好きかを問う設問では、肯定的な回答をした児童の割合が、全国平均を上回っていた。

3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- 朝学習の時間や放課後の時間に算数の練習問題に取り組みせ、計算の技能の習熟を図る時間を設定する。
- 枝光ルールの共通理解及び徹底を図る。（用具、服装、姿勢、板書・ノート、学び合い方、時間配分等）
- 授業の中で思考の可視化と学び合いを位置付けることを、全学級で徹底する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 家庭学習の進め方の掲示をしたり、児童の自学ノートを紹介したりするコーナーを校内に設置する。（家庭学習の意義・家庭学習の進め方等）